

## 今年もインフルエンザワクチンの季節になりました！



### 11月の感染症情報

保育所などの集団生活をするお子さんは、積極的に接種をするようにしましょう。生後6か月以上のお子さんが対象です。ワクチンの効果は5ヶ月間持続します。

2015/2016シリーズから、**A型2種類、B型2種類の4価のワクチンに変更され、より予防効果が高くなりました。**今シーズンのワクチン株は昨シーズンとは**A型の2種類の型が変わっています。**

昨シーズンは、主にAソ連型(A/H1N1pdm09)が流行しましたが、一昨年はB型が大流行しました。毎年、Aソ連型、A香港型、B型の3種類の方が流行しますが、どの型が流行するかわかりません。また、一つの型だけが流行することはありません。

10月に入り、嘔吐を伴う感染性胃腸炎の発生があります。感染性胃腸炎で、**ソファや布団に吐いた時は、吐物を拭き取ってよく乾燥させた後スチームアイロンを約2分間あてると、ウイルスが不活化されます。**



### シリーズ キッズケア・青い鳥がめざす保育 ⑦

～ 発達を学び、発達の一步前の活動を知ること、発達を促す保育を！～

お話ができるようになったよ、でもまだうまく伝わらないこともあるんだ

**1歳児後半ごろ  
～自分で選び、自分で決めたい～**

手が上手に使えるようになってきたよ！

#### だだこね

言葉でうまく自己主張できない代わりにだだをこねて相手の出方を伺っています。そんな時は、少し余裕をもって見守っていると子供から和解のまなざしを送ってくれるでしょう。

言葉を話せるようになったり、手を器用に使えるようになったりします。しかし、まだ思うようにならないことも多く、イライラしながら**何度も試行錯誤して、やり直そうという気持ち(心の立ち直り)**ができてきます。そんな子どもの心を受け止めて、**何度でも挑戦しようとする勇気を認め、共感してあげましょう。**

#### 噛みつき

心の中のストレスを発散する手段として無意識に噛んでしまうことがあります。そんな時は、自分でできる喜びや存在感を実感できる「お手伝い」を広げてあげると、噛みつきは減ってきます。

“発達子どもの  
願いから始まる”  
白石正久著より

失敗した～  
でももう1回やってみよう！

次回は2・3歳頃をします。

### 10月のご利用状況

10月の利用延べ人数は69名、一日平均利用人数は3.0人でした。年齢別では、1歳児が25名(36%)で最も多く、次いで0歳児の10名(14%)、同じく3歳児の10名(14%)の順でした。疾患別では、急性上気道炎が32名で最も多く、次いで感染性胃腸炎の11名でした。9月に多かったRSV感染症は1名のみで流行は下火になったようです。今回、感染性胃腸炎で入室後に嘔吐がひどくなり、保護者の方に連絡をして、あおい小児科で点滴処置を行ったケースがありました。入室時に診察をして入室してもらいましたが、感染性胃腸炎は病状の変化を予測することが難しいと改めて痛感しました。